

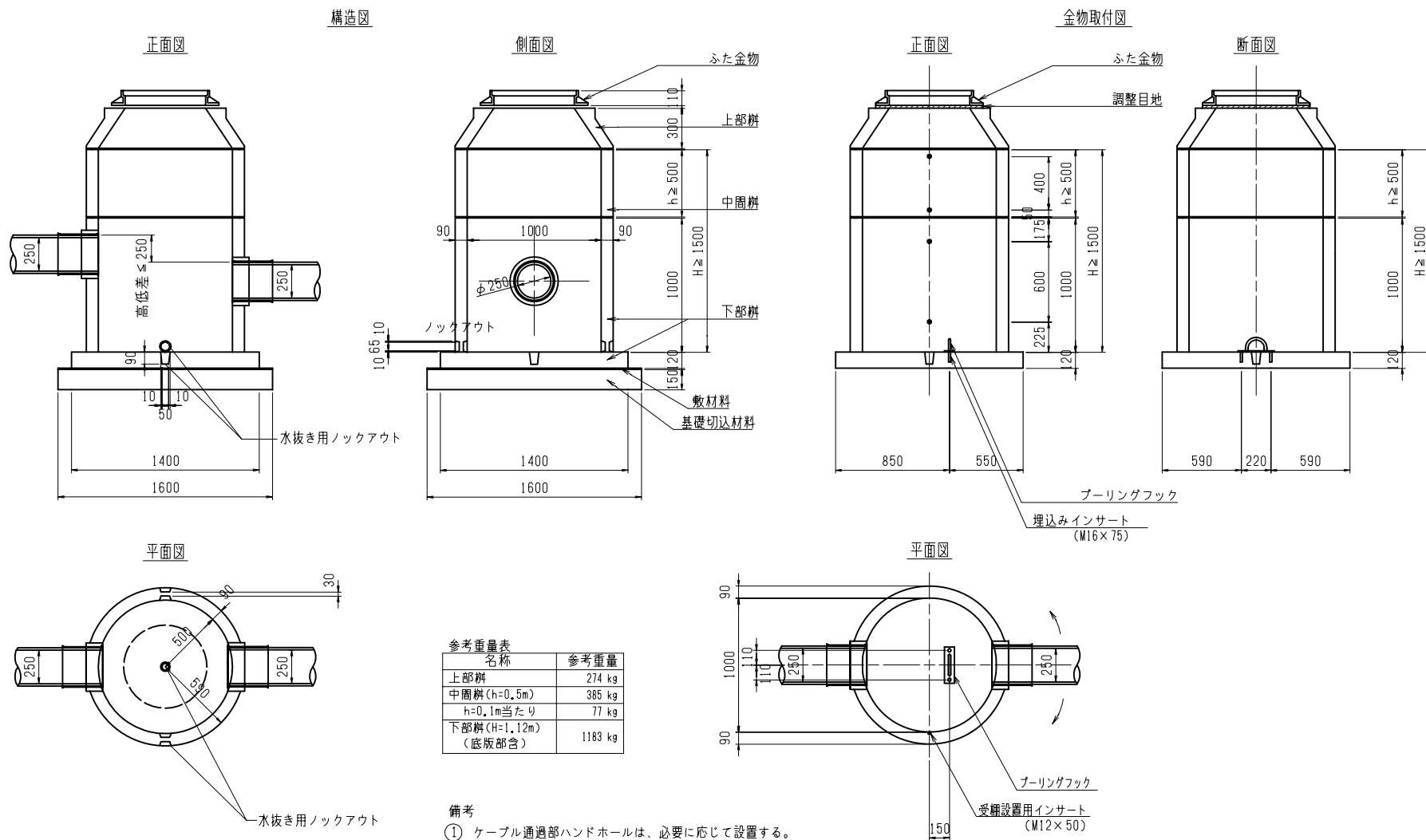
9. 情 報 ボ ッ ク ス

— 目 次 —

N0.	記 号	内 容 説 明	備 考
情－1		情報ボックスハンドホール（ケーブル通過部）タイプⅠ型	H14
情－2		情報ボックスハンドホール（ケーブル通過部）タイプⅠ型（複数管方式取付部）	H21
情－3		情報ボックスハンドホール（接続・分岐部）タイプⅡ型	H29
情－4		情報ボックスハンドホール（接続・分岐部）タイプⅢ型	H29
情－5		情報ボックスハンドホール（接続・分岐部）タイプⅣ型	H29
情－6		MCCP管（EIジョイント スライド）	H22
情－7		MCCP管（EIジョイント 固定）	H22
情－8		MCCP用橋梁添架伸縮継手(50 A)	H22
情－9		MCCP用橋梁添架伸縮継手(80 A)	H22
情－10		リブ管用アンカー式さや管固定金具（固定端）	H16
情－11		リブ管用アンカー式さや管固定金具（可動端）	H16
情－12		台付管用アンカー式さや管固定金具（固定端）	H16
情－13		台付管用アンカー式さや管固定金具（可動端）	H16
情－14		スライド管（参考図）	H13
情－15		MCCP用ハンドホール継手（参考図）	H13
情－16		鋼管部ハンドホール取付詳細（参考図）	H19
情－17		リブ管用ハンドホール継手構造（参考図）	H13
情－18		埋設標識シート（参考図）	H13
情－19		埋設標識見出しポール（その１）	H18-9
情－20		埋設標識見出しポール（その２）	H18-9
情－21		見出しポール埋設標識	H18-9
情－22		ハンドホール蓋（参考図）	H13

一般国道	図面記号	情 - HH-I	H14
	名称	情報ボックスハンドホール（ケーブル通過部） タイプⅠ型	

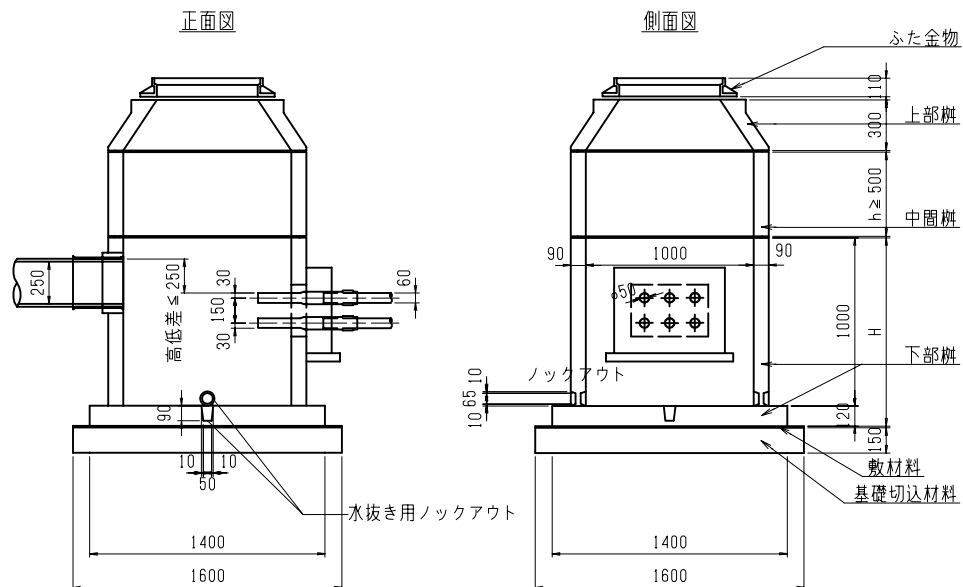
単位：mm



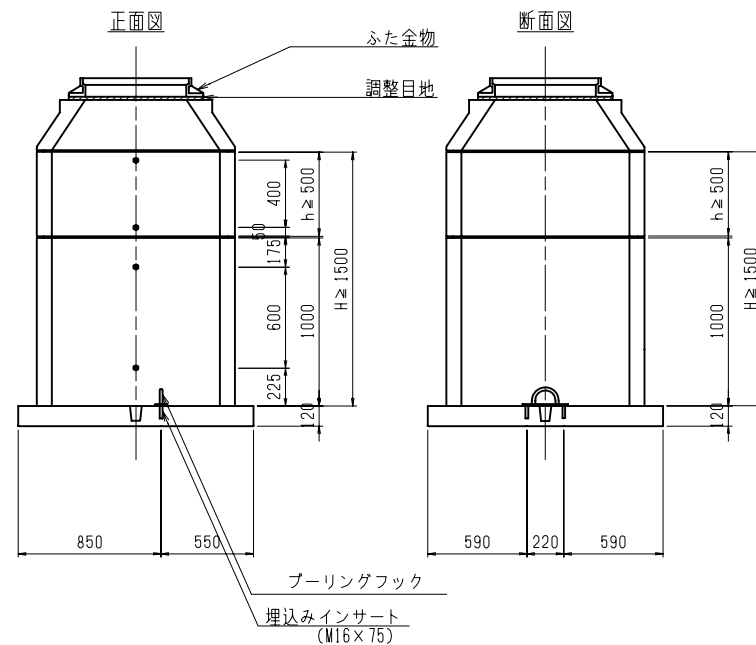
一般国道	図面記号	情 - HH-I	H21
	名称	情報ボックスハンドホール（ケーブル通過部） タイプ I 型（複数管方式取付部）	

単位：mm

構造図



金物取付図



参考重量表

名称	参考重量
上部柵	274 kg
中間柵 (h=0.5m)	385 kg
h=0.1m 当たり	77 kg
下部柵 (H=1.12m) (底版部含)	1183 kg

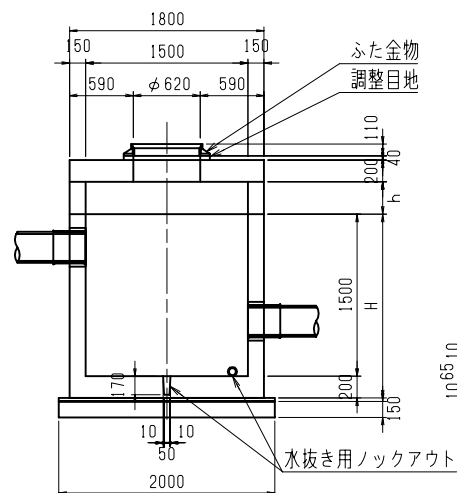
備考

- ① 下部柵と中間柵は一体とすることが出来る。
- ② 敷材料は、厚さ3cm程度の砂を標準とする。
- ③ 情報ボックス本体と複数管方式の高低差は、250mm以内とする。

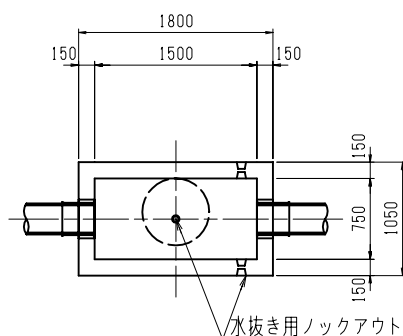
一般国道	図面記号	情 - HH-II	H29
	名称	情報ボックスハンドホール（接続・分岐部）	
		タイプⅡ型	

構造図

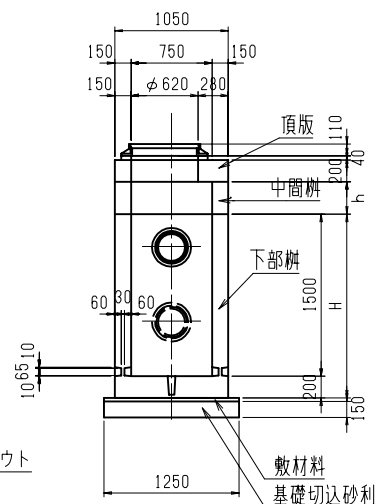
側面図



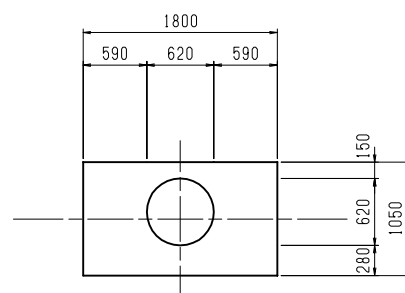
平面図



正面図



頂版平面図



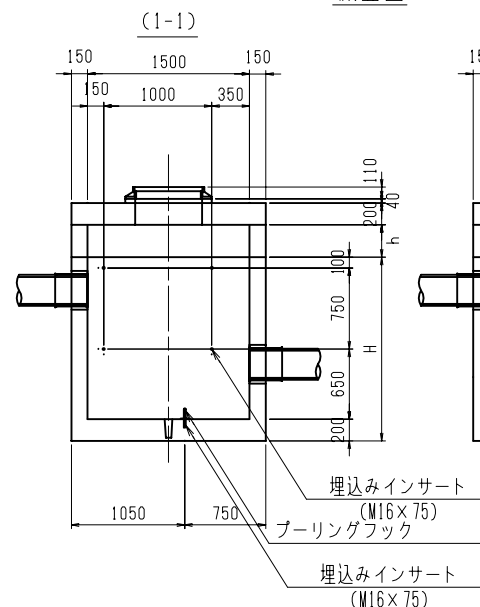
名称	参考重量
頂版	794 kg
中間枠 h=0.1m当たり	191 kg
下部枠(H=1.7m)	3734 kg

備考

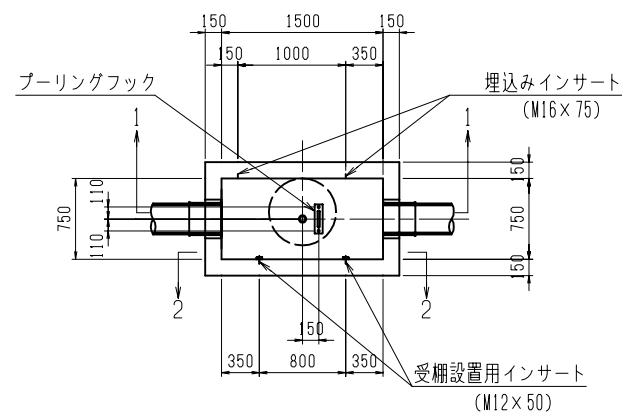
- ① ハンドホールの設置間隔は、最大250mを標準とする。
- ② ハンドホールの設置位置は、非常時の情報コンセント等に対応するため、冬季除雪可能箇所を選定している。
よって歩道部、歩道のない箇所は車道部同一路面上とすることを原則とする。
- ③ 蓋の設置位置は、民地側を基本とする。
- ④ 現地の状況により中間枠を使用することが出来る。
- ⑤ 敷材料は、厚さ3cm程度の砂を標準とする。
- ⑥ 底版の水抜き用ノックアウトは、施工時に地下水の有無を確認し、無い場合に開口するものとする。

金物取付図

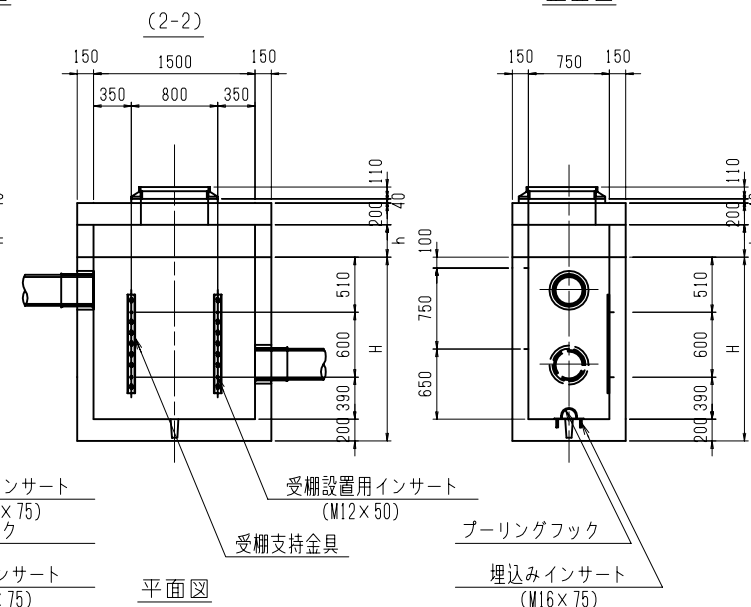
側面図



平面図



正面図

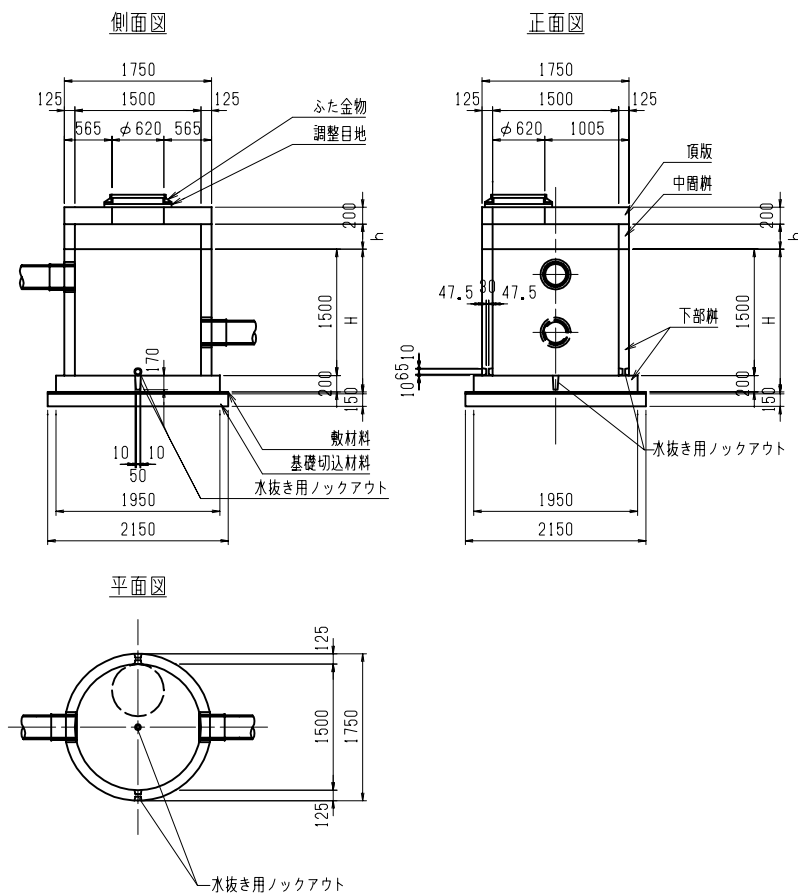


単位：mm

一般国道	図面記号	情 - HH-Ⅲ	H29
	名称	情報ボックスハンドホール（接続・分岐部） タイプⅢ型	

単位：mm

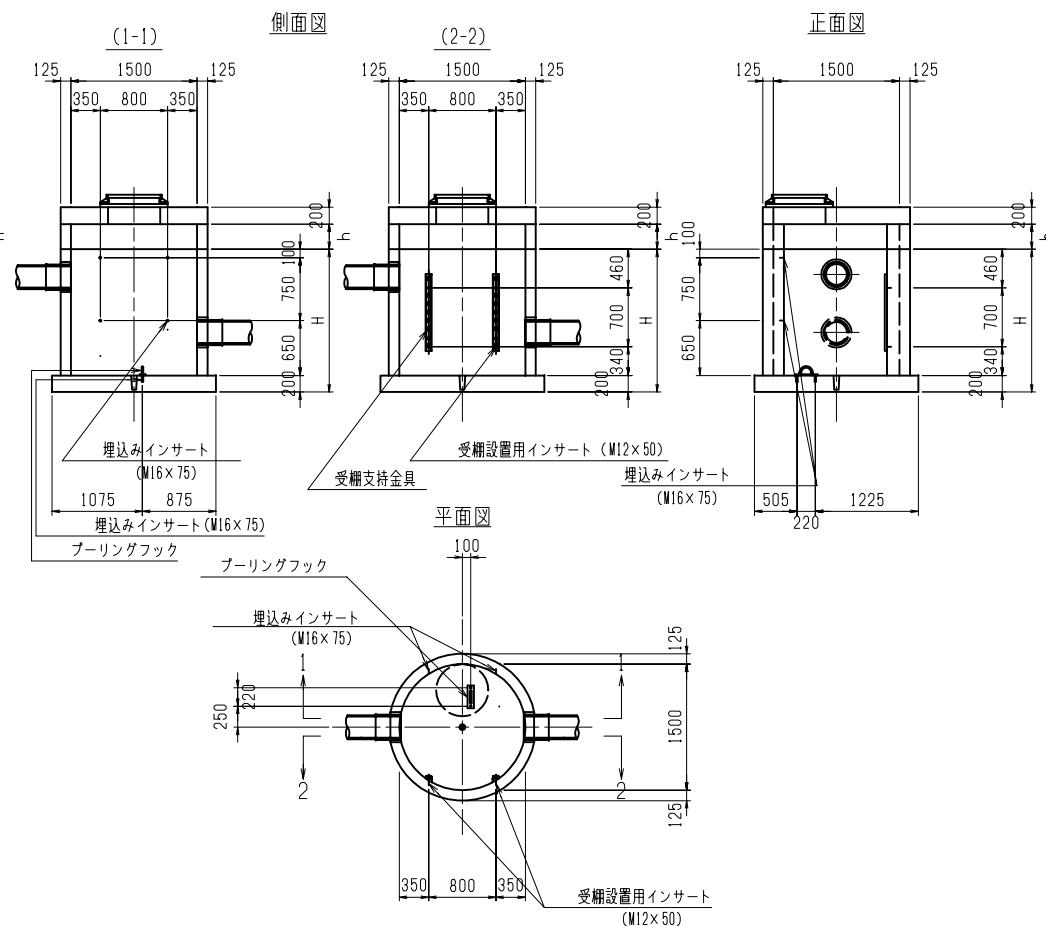
構造図



参考重量表

名称	参考重量
頂版	1052 kg
中層板	160 kg
h=0.1m当たり	
下部板 (H=1.7m)	3901 kg

金物取付図

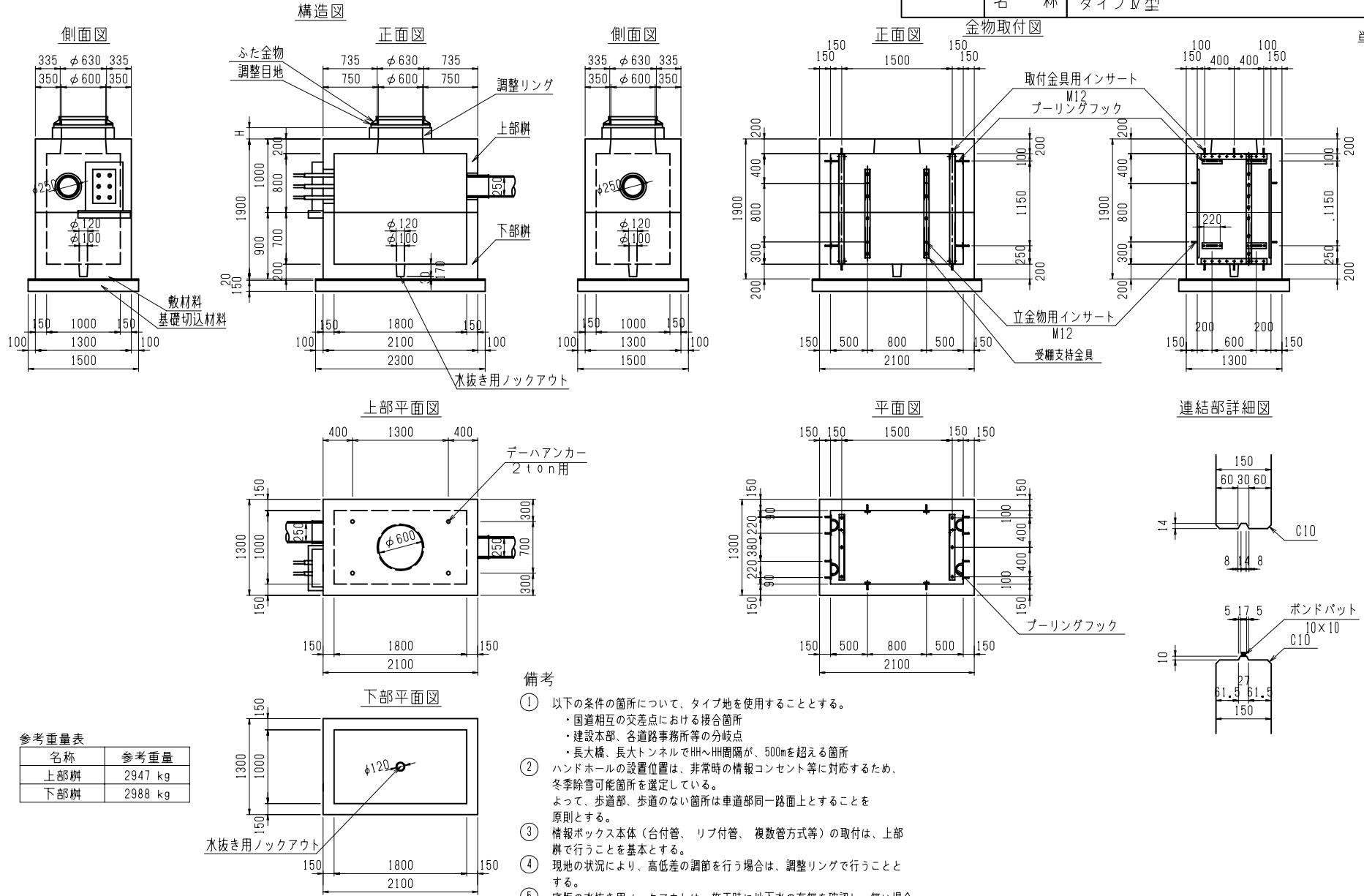


備考

- ① ハンドホールの設置間隔は、最大250mを標準とする。
- ② ハンドホールの設置位置は、非常時の情報コンセント等に対応するため、冬季除雪可能箇所を選定している。
よって歩道部、歩道のない箇所は車道部同一路面上とすることを原則とする。
- ③ 蓋の設置位置は、民地側を基本とする。
- ④ 現地の状況により中層板を使用することが出来る。
- ⑤ 敷材料は、厚さ3cm程度の砂を標準とする。
- ⑥ 底版の水抜き用ノックアウトは、施工時に地下水の有無を確認し、無い場合に開口するものとする。

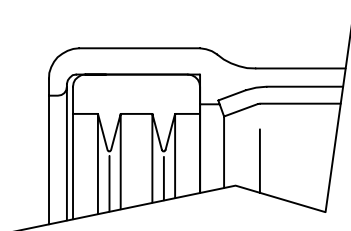
一般国道	図面記号	情 - HH-Ⅶ
	名称	情報ボックスハンドホール（接続・分岐部） タイプⅦ型

単位：mm

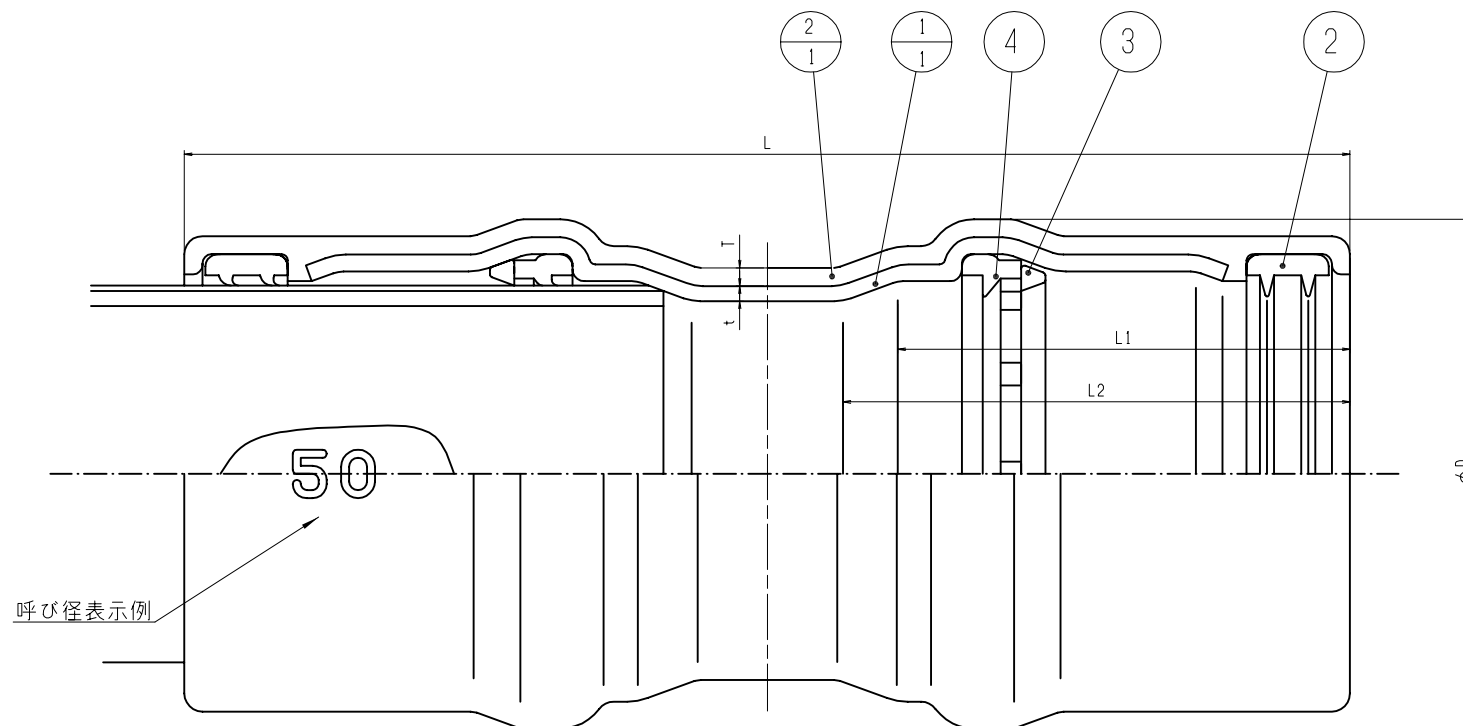


一般国道	図面記号	情 - M C C P 管
	名 称	MCCP管 (E I ジョイント スライド)

単位 : m m



100A, 125A, 150A 端部形状



呼び径表示例

呼び(A)	外 径	長 さ	挿入部長さ		ライニング厚さ	厚 さ
	D	L	L1	L2	T	t
50	84	193	75	84	3	2.3 ^{-0.5}
80	116	212	83	95	3	3.2 ^{-0.5}
100	143	218	85	98	3	3.2 ^{-0.5}
125	171	235	91	105	3	3.2 ^{-0.5}
150	197	244	95	110	3	3.6 ^{-0.5}

備 考

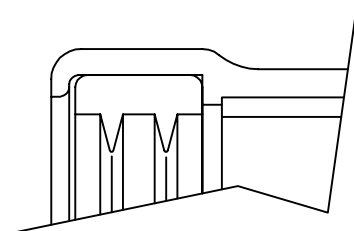
継手構造は以下の事項を満足するものとする。

- ① プレス加工後にエポキシ樹脂電着塗装後、ポリエチレン射出成型被覆を行う
 ② ポリエチレン被覆は、外面全体に射出成型し、膨れ・剥離やその他の有害な欠点があってはならない。また、被覆の色は黒色とする。
 ③ ポリエチレン射出成型被覆の膜厚は、1mm以上とする。
 ④ 橋梁添架の露出配管になる箇所については、耐候性の黒色ポリエチレンを被覆してあるものを用いることとする。

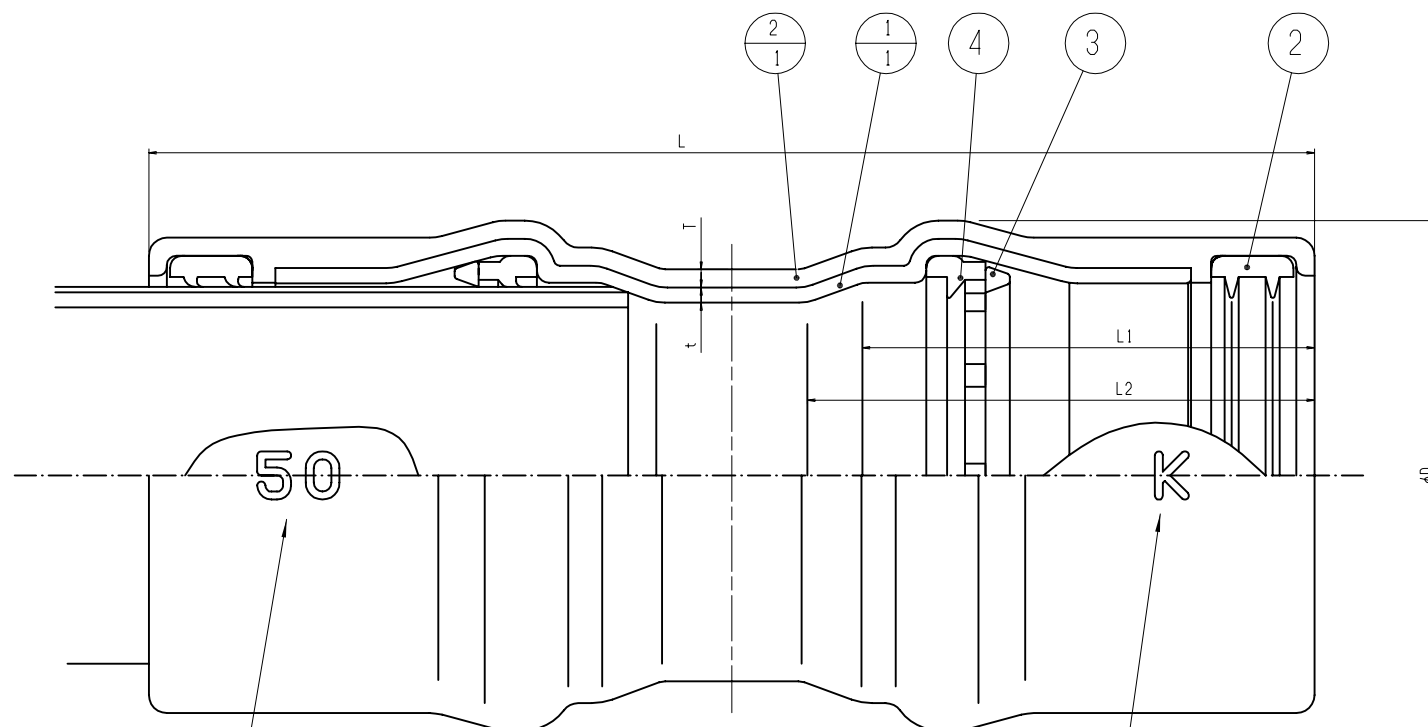
4	支持ゴム	2	合成ゴム	
3	ストッパーリング	2	S40C~S45C相当品	
2	気密ゴムリング	2	合成ゴム	
2/1	本体防食層	1	ポリエチレン	
1/1	本体鋼管部	1	STK400相当品	
品番	品 名	数量	材 質	備 考

一般国道	図面記号	情 - M C C P 管
	名 称	M C C P 管 (E I ジョイント 固定)

単位 : m m



100A, 125A, 150A 端部形状



呼び径表示例

固定タイプを示す表示

呼び(A)	D	L	L1	L2	T	t
50	84	193	75	84	3	2.3 ^{-0.5}
80	116	212	83	95	3	3.2 ^{-0.5}
100	143	218	85	98	3	3.2 ^{-0.5}
125	171	235	91	105	3	3.2 ^{-0.5}
150	197	244	95	110	3	3.6 ^{-0.5}



備 考

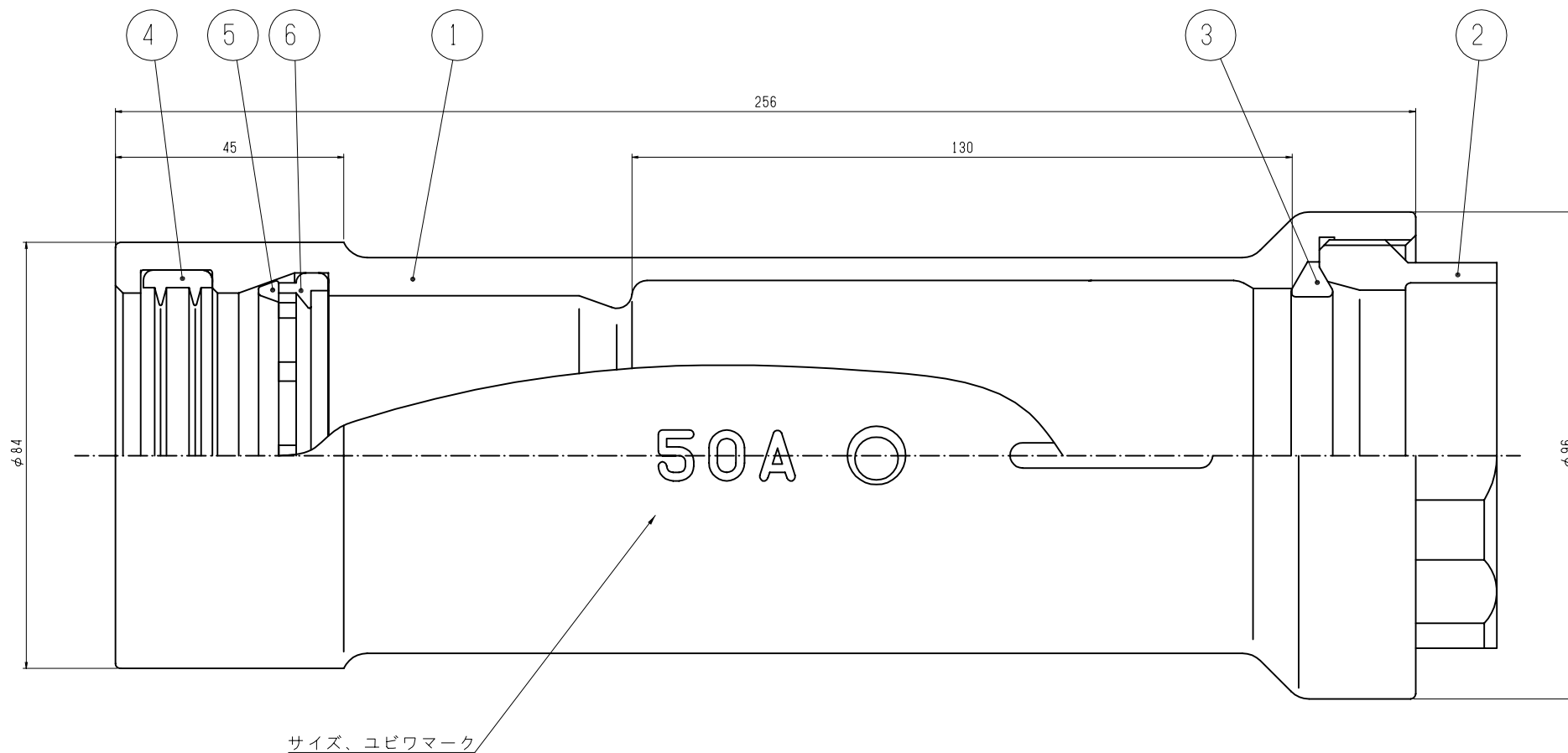
橋梁添架部の固定支持部及び、コンクリート内埋設部（マウントアップ歩道部を含む）については、MCCP管（EIジョイント固定）を使用するものとする。

橋梁添架等の露出配管になる箇所については、耐候性の黒色ポリエチレンを被覆する。

4	支持ゴム	2	合成ゴム	
3	ストッパーリング	2	S400~S450相当品	
2	気密ゴムリング	2	合成ゴム	
2/1	本体防食層	1	ポリエチレン	
1/1	本体鋼管部	1	STK400相当品	
品番	品 名	数量	材 質	備 考

一般国道	図面記号	情 - M C C P 管
	名 称	橋梁添架伸縮継手 (50A)

単位 : m m



6	支持ゴム	1	合成ゴム	
5	ストッパリング	1	S40C~S45C相当品	
4	固定側ゴムリング	1	合成ゴム	
3	伸縮側ゴムリング	1	合成ゴム	
2	押し輪	1	FCMB270	HDZ B
1	本体	1	FCD450-10	HDZ B
品番	品 名	数量	材 質	備 考

備 考

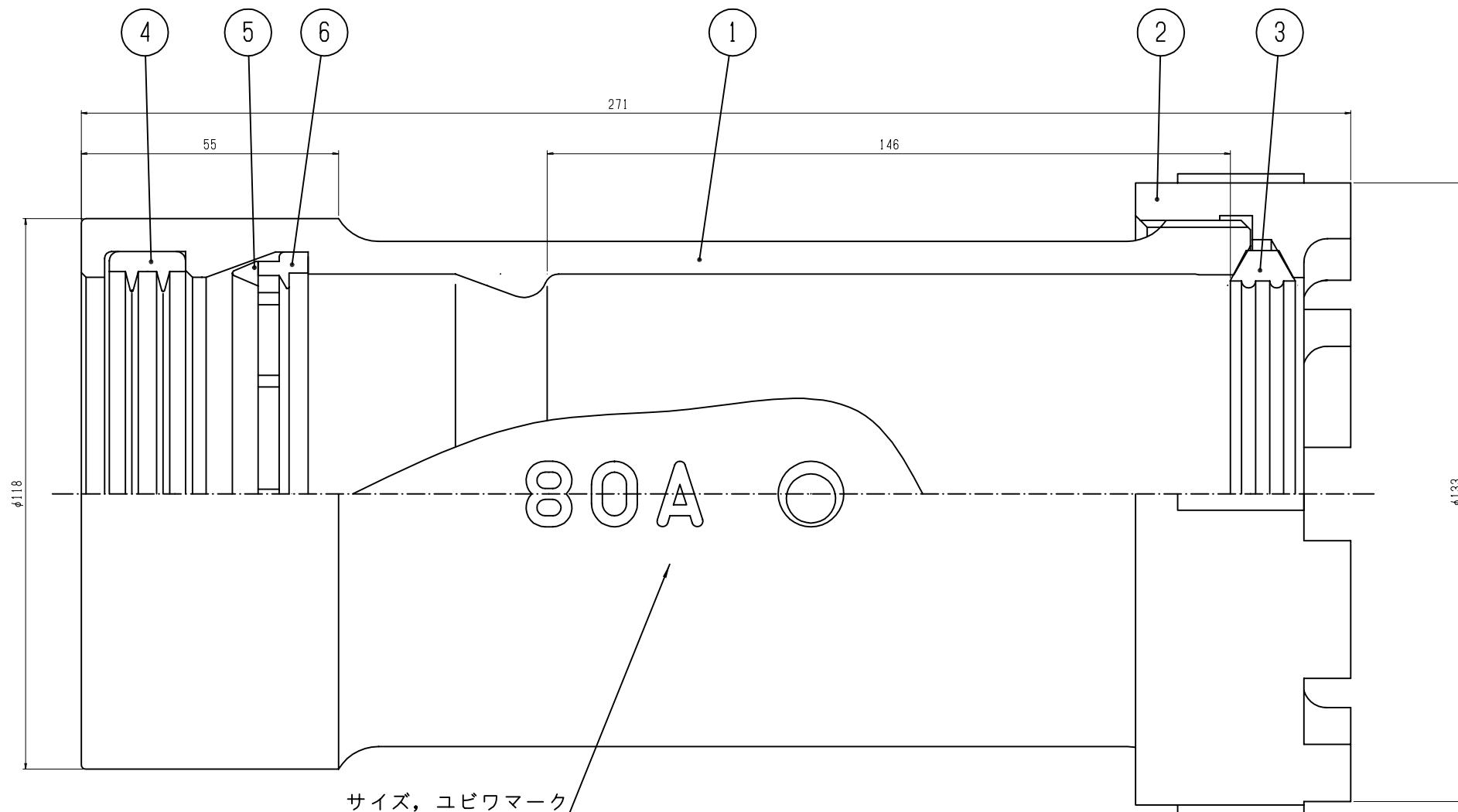
継手構造は以下の事項を満足するものとする。

①固定端と伸縮端を有するものとする。

②橋梁添架の露出配管になる箇所については、耐候性の黒色ポリエチレンを被覆しているものを用いることとする。

一般国道	図面記号	情 - M C C P 管
	名 称	橋梁添架伸縮継手 (80A)

単位 : m m



6	支持ゴム	1	合成ゴム	
5	ストッパリング	1	S400~S450相当品	
4	固定側ゴムリング	1	合成ゴム	
3	伸縮側ゴムリング	1	合成ゴム	
2	押し輪	1	FCMB270-05	HDZ B
1	本体	1	FCMB270-05	HDZ B
品番	品 名	数量	材 質	備 考

備 考

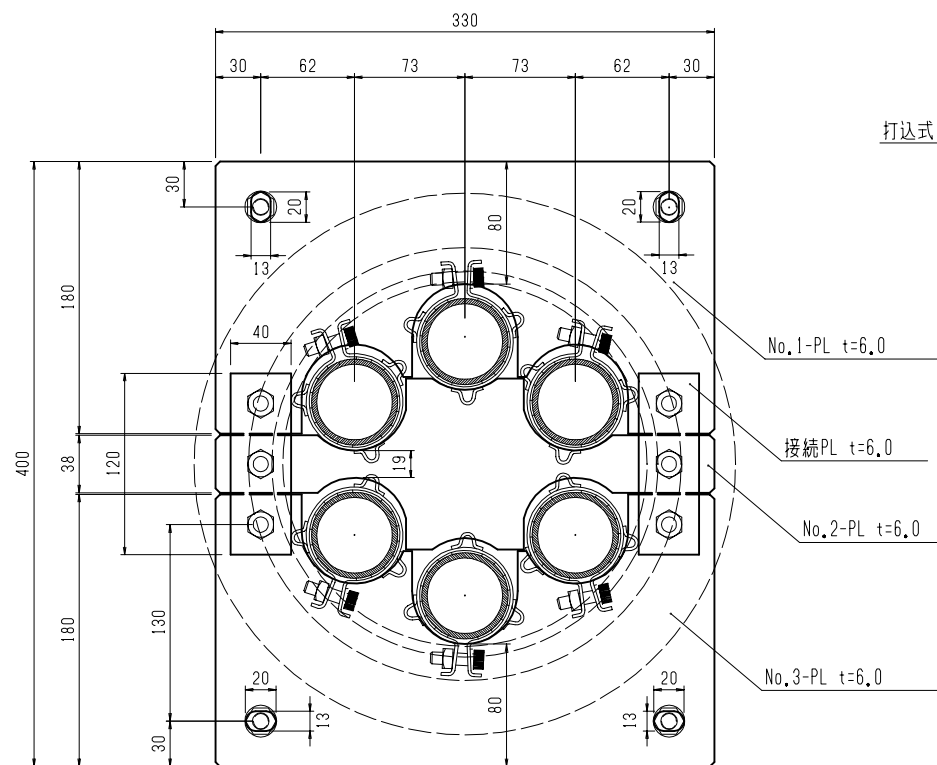
継手構造は以下の事項を満足するものとする。

①固定端と伸縮端を有するものとする。

②橋梁添架の露出配管になる箇所については、耐候性の黒色ポリエチレンを被覆しているものを用いることとする。

一般国道	図面記号	情-リブ管用 アンカー式さや管固定金具 H16
	名 称	アンカー式さや管固定金具取付図 (固定端)
		SS400 HDZ55

単位: mm



A-A断面

B-B断面

打込式アンカーボルト M10×80 (SW×1)

M10×35 (SW×1、W×1)

さや管φ50

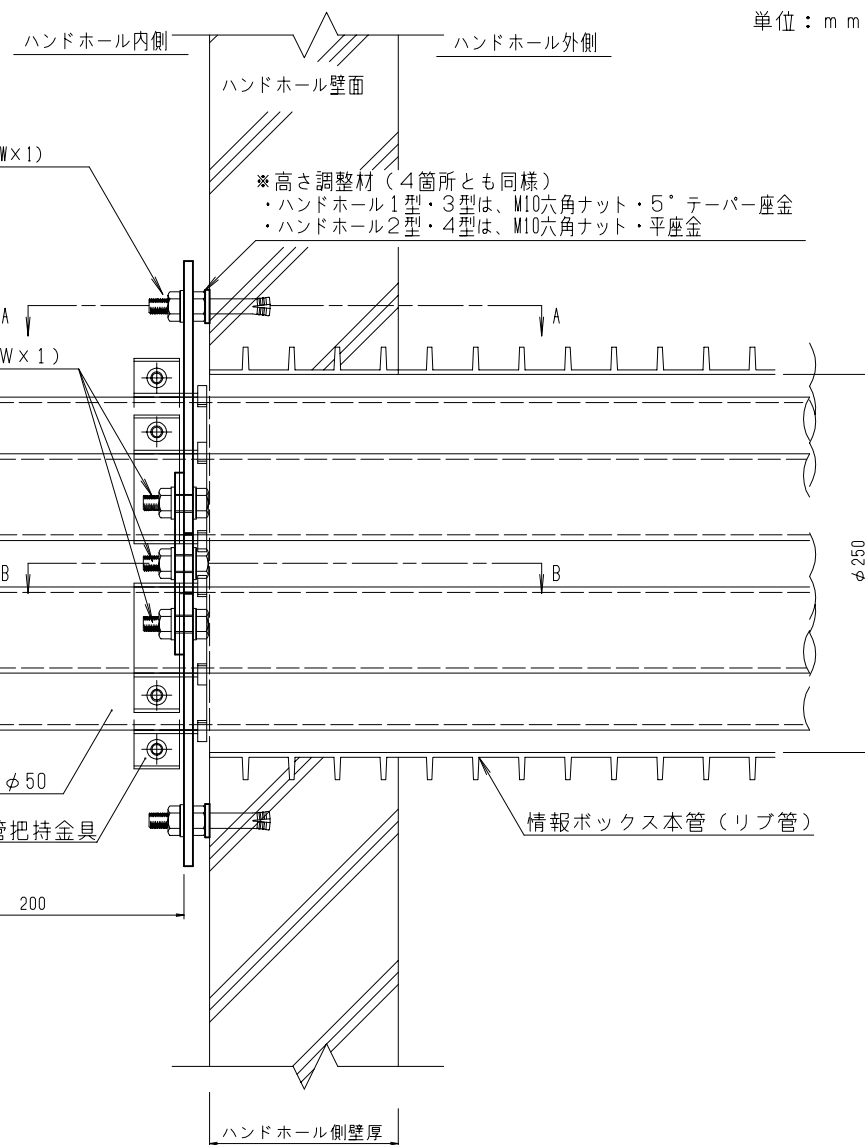
さや管把持金具

200

M10×35 (SW×1、W×1)

打込式アンカーボルト
M10×80 (SW×1)

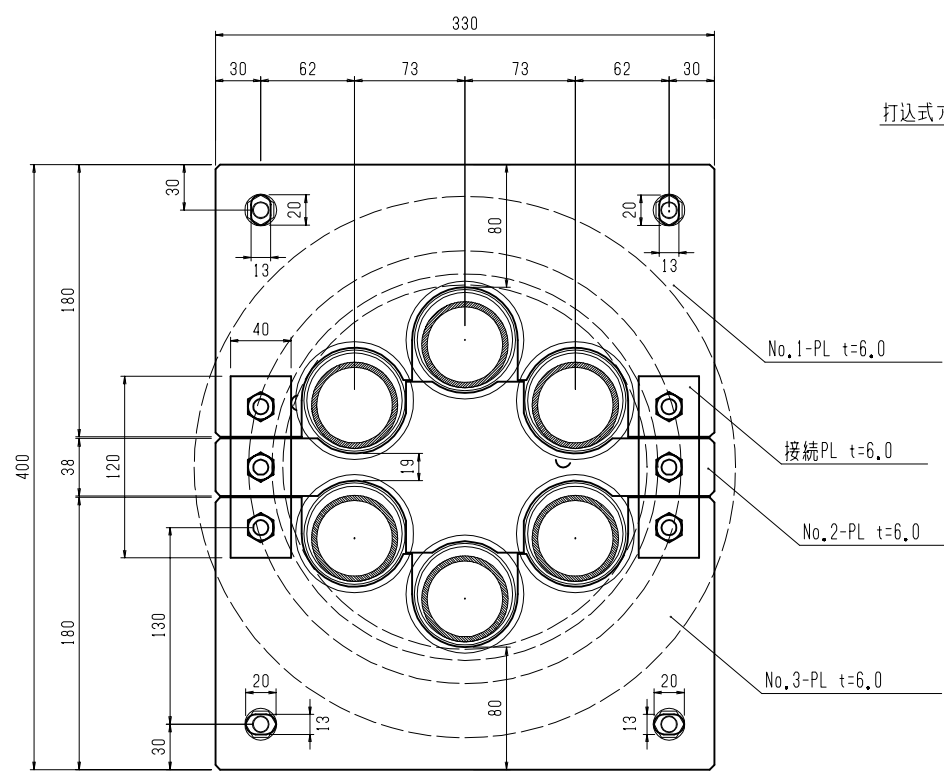
ハンドホール壁面

ハンドホール1型・3型の壁面形状は、曲面
2型・4型の壁面形状は、平面

1型	= 90
2型	= 150
3型	= 125
4型	= 150

一般国道	図面記号	情-リブ管用 アンカー式さや管固定金具 H16
	名 称	アンカー式さや管固定金具取付図（可動端） SS400 HDZ55

単位：mm



A-A断面

B-B断面

打込式アンカーボルト M10×80 (SW×1)

M10×35 (SW×1、W×1)

A

A

B

B

さや管φ50

さや管予長 (50~720)

情報ボックス本管 (リブ管)

リブ管用スライド管

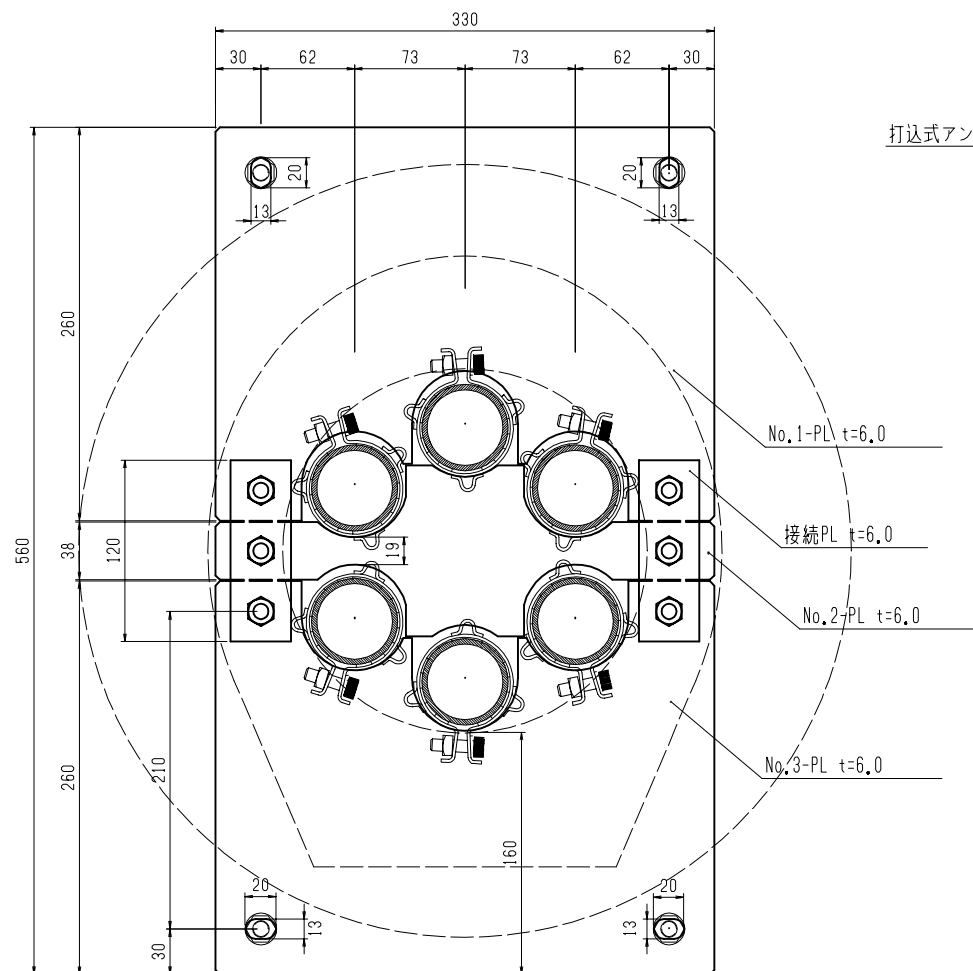
ハンドホール側壁厚

- 1型 = 90
- 2型 = 150
- 3型 = 125
- 4型 = 150

ハンドホール1型・3型の壁面形状は、曲面
2型・4型の壁面形状は、平面

一般国道	図面記号	情一付管用 アンカー式さや管固定金具 H16
	名 称	アンカー式さや管固定金具取付図 (固定端)
		SS400 HDZ55

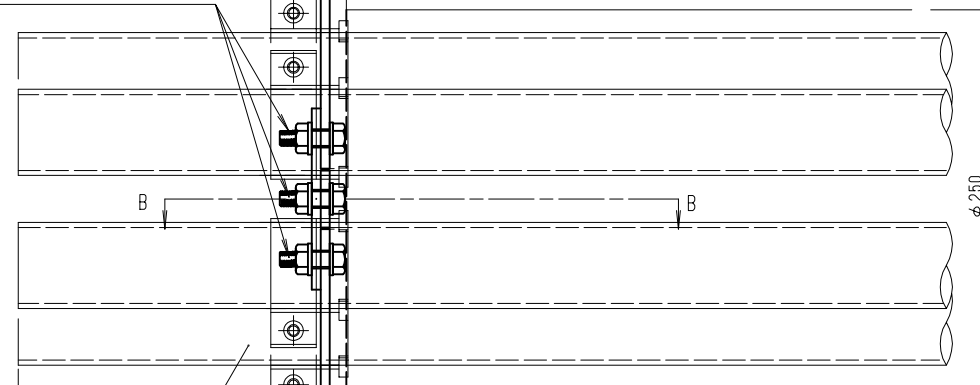
単位: mm



打込式アンカーボルト M10×80 (SW×1)

※高さ調整材 (4箇所とも同様)
 ・ハンドホール1型・3型は、M10六角ナット・5°テーパ座金
 ・ハンドホール2型・4型は、M10六角ナット・平座金

M10×35 (SW×1、W×1)



さや管 ø50
 さや管把持金具

情報ボックス本管 (台付管)

ハンドホール内側

ハンドホール壁面

ハンドホール外側

ハンドホール側壁厚

1型 = 90 3型 = 125
 2型 = 150 4型 = 150

A-A断面

B-B断面

M10×35 (SW×1、W×1)

打込式アンカーボルト
 M10×80 (SW×1)

ハンドホール壁面

ハンドホール1型・3型の壁面形状は、曲面
 2型・4型の壁面形状は、平面

Technical drawing of a circular plate with dimensions and labels. The drawing shows a circular plate with a diameter of 330. The outer diameter is 330, and the inner diameter is 160. The plate has a thickness of 6.0. The drawing includes dimensions for the outer diameter (330), the inner diameter (160), and the thickness (6.0). The plate is divided into three sections: No. 1-PL, No. 2-PL, and No. 3-PL. The labels are: No. 1-PL t=6.0, 接続PL t=6.0, No. 2-PL t=6.0, and No. 3-PL t=6.0. The drawing also shows a central circular feature with a diameter of 160 and a thickness of 19. The plate is mounted on a base with four bolts, each with a diameter of 20 and a length of 13. The mounting holes are spaced 30, 62, 73, 73, 62, and 30 from the center. The plate is also shown with a central hole of diameter 40 and a thickness of 38. The drawing includes a scale bar from 0 to 560.

ハンドホール側壁厚

1	刑	=	9	0
2	刑	=	1	5
3	刑	=	1	2
4	刑	=	1	5

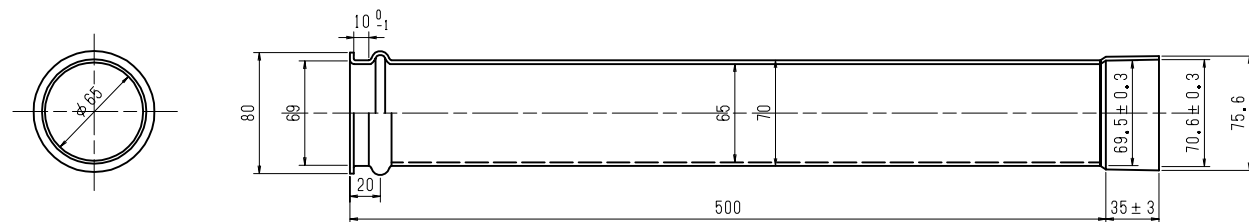
ハンドホール壁面

ハンドホール1型・3型の壁面形状は、曲面
2型・4型の壁面形状は、平面

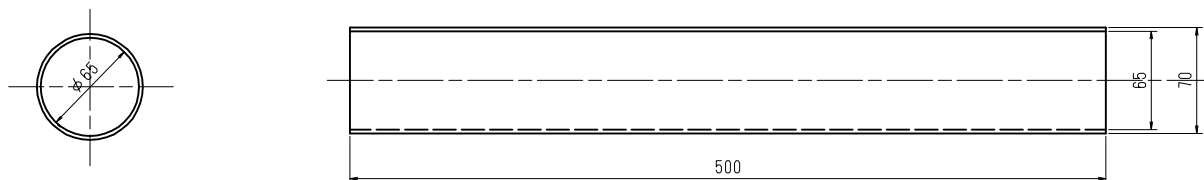
一般国道	図面記号	情 - スライド管	H13
	名 称	スライド管 参考図	

単位：mm

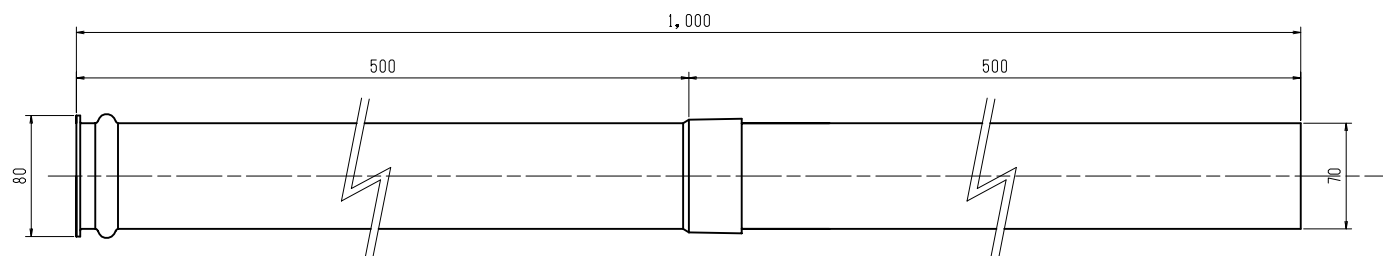
スライド管 L=500mm



スライド管（延長管） L=500mm



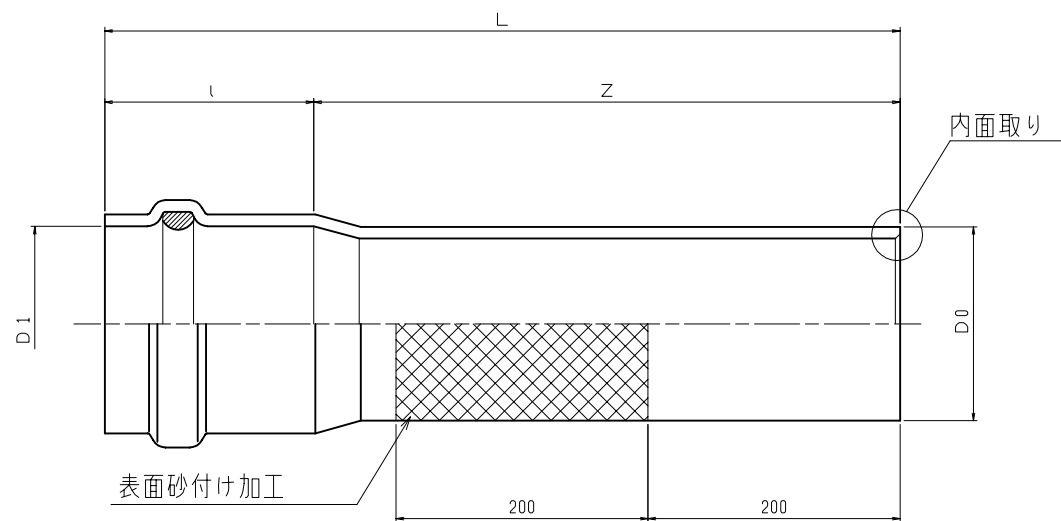
スライド管組立図 L=1000mm



備考 接続については、硬質ビニール管用の接着剤を用いて接続を行うこと

一般国道	図面記号	情 - M C C P 継手	H13
	名 称	M C C P 用 ハンドホール継手 参考図	

単位：mm



単位:mm

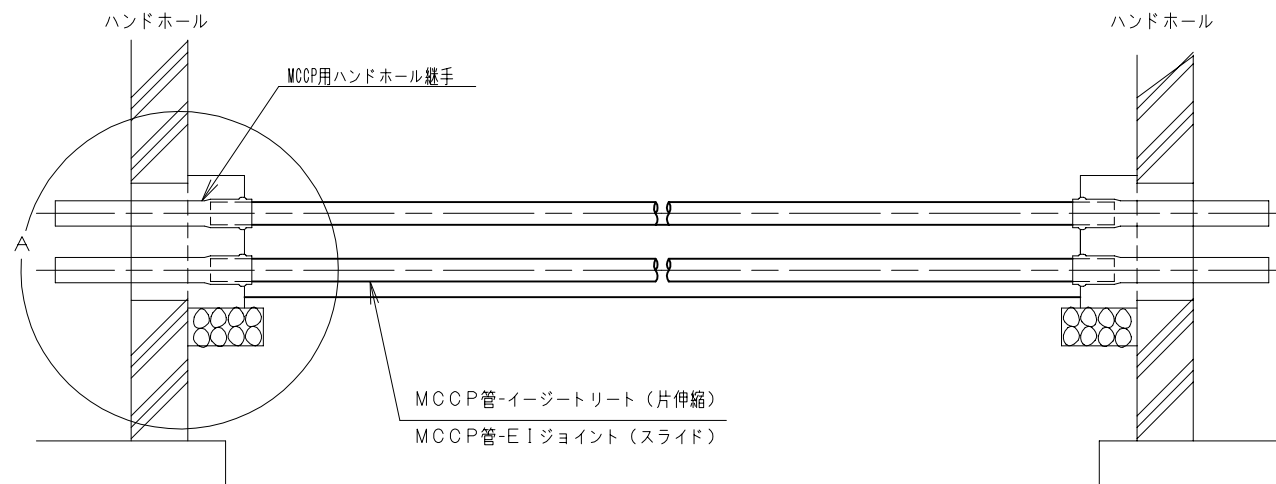
呼び	D 1	D 0	Z (参考)	L	l
5 4	63.5 ± 0.25	60.0 ± 0.2	440	550 ± 15	110

備 考

- ① 許容値のない数値は参考値を表す。
- ② 鋼管（MCCP）の被覆は剥がさないで接続を行うこと。
- ③ 鋼管（MCCP）を切管したときは、必ず面取りを行った後、接続をすること。
- ④ 材質は硬質塩化ビニルとする。

一般国道	図面記号	情 - 鋼管取付詳細	H19
	名 称	鋼管部ハンドホール取付詳細図 参考図	

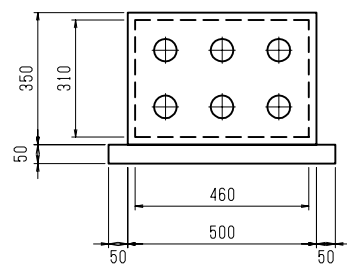
ハンドホール取付図



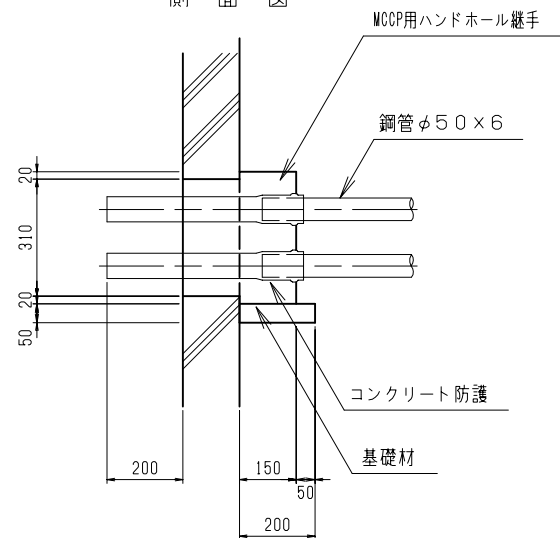
単位 : m m

A 部詳細図

正面図

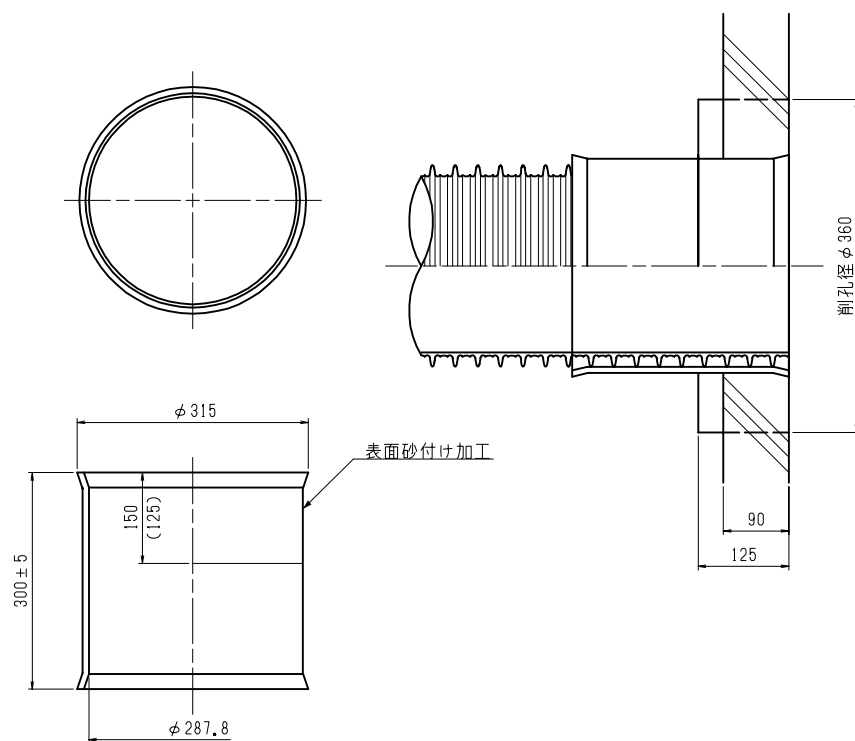


側面図



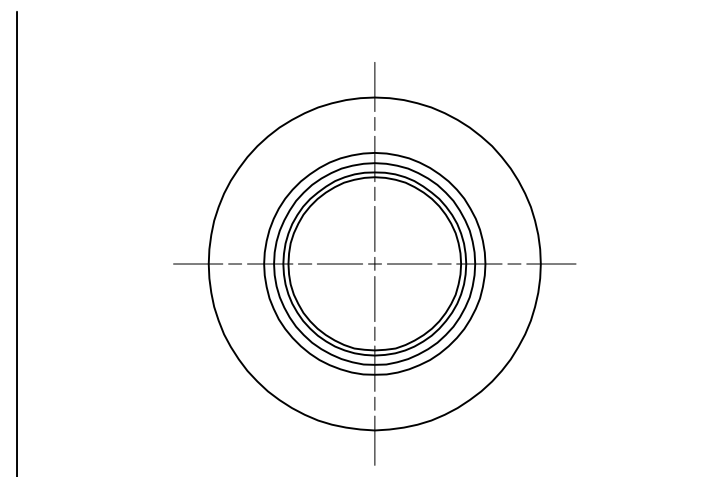
一般国道	図面記号	情 - リブ管継手	H13
	名 称	リブ管用ハンドホール継手構造図 参考図	

リブ管用ハンドホール継手構造図



()は、Ⅰ型、Ⅲ型の場合。

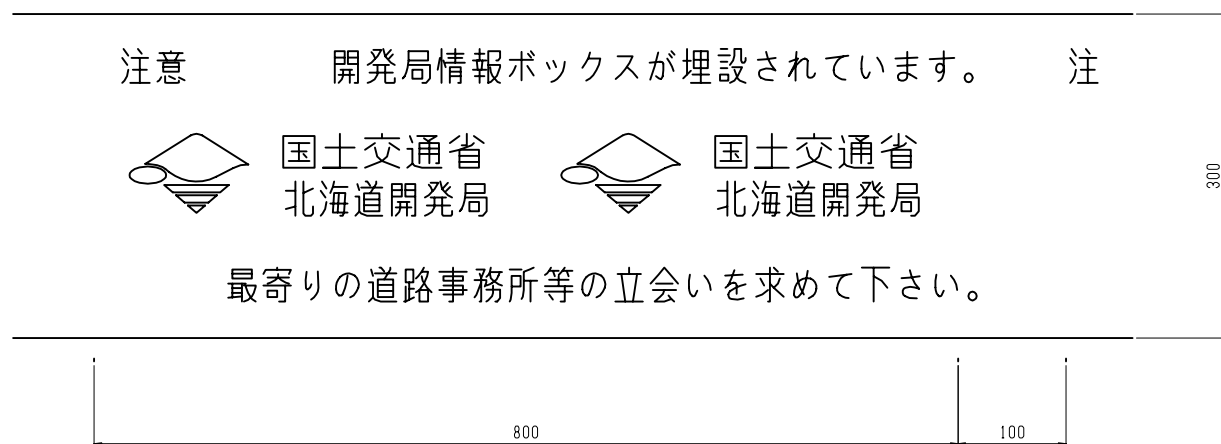
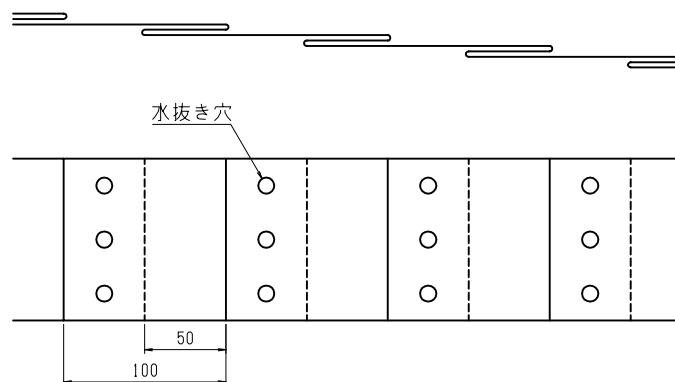
リブ管用ハンドホール継手施工図（Ⅰ型）



型（壁厚150mm）、窟（壁厚125mm）については壁厚分の施工とする。

一般国道	図面記号	情 - 埋設標識シート	H13
	名 称	埋設標識シート参考図	

単位：mm

埋 設 標 識 シ ー ト印刷表示図折込構造図

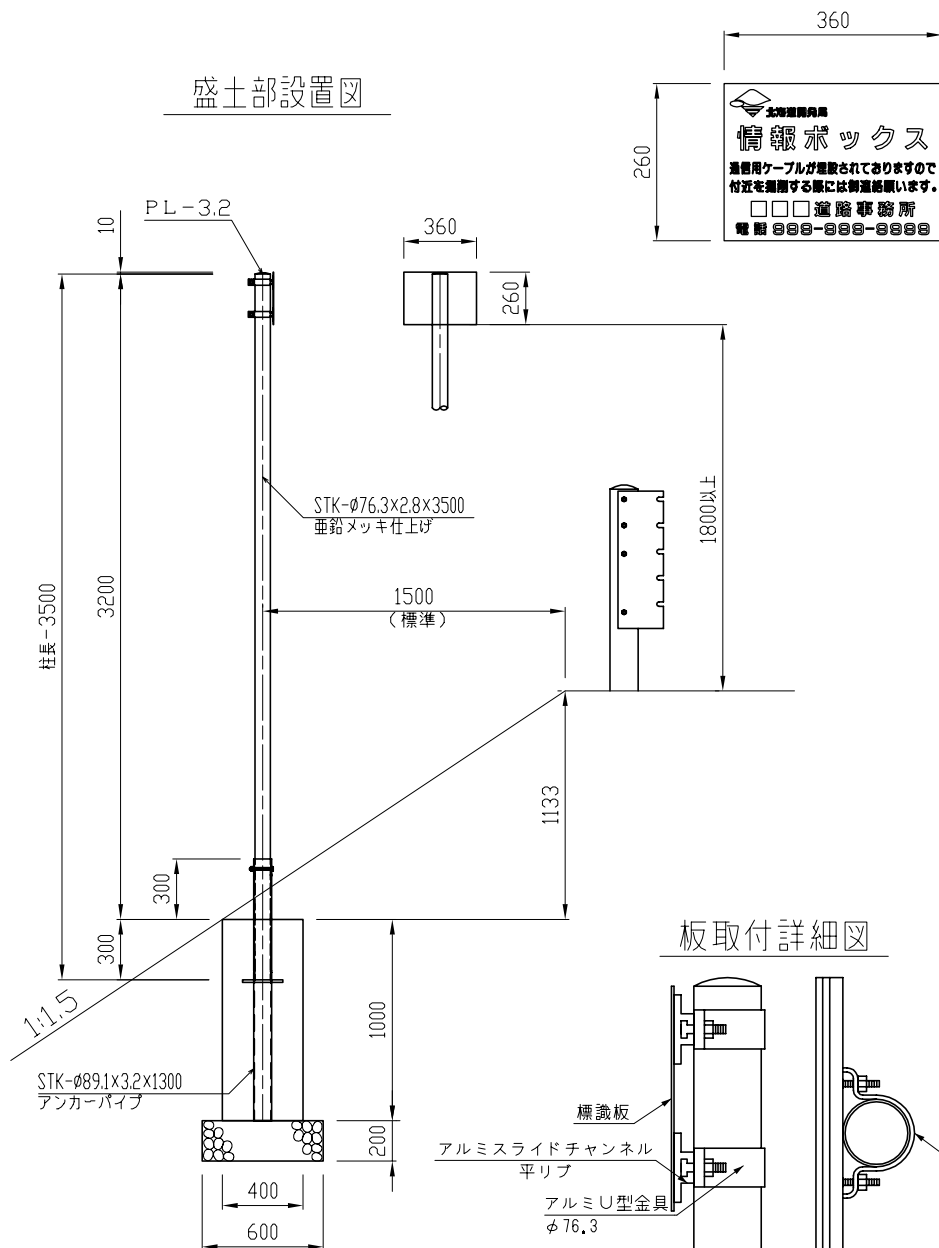
仕様

1. 色：地色 ピンク 文字色 黒
2. 折込は2倍 定尺50m
3. 連続印刷とする
4. 材質：ポリエチレンクロス

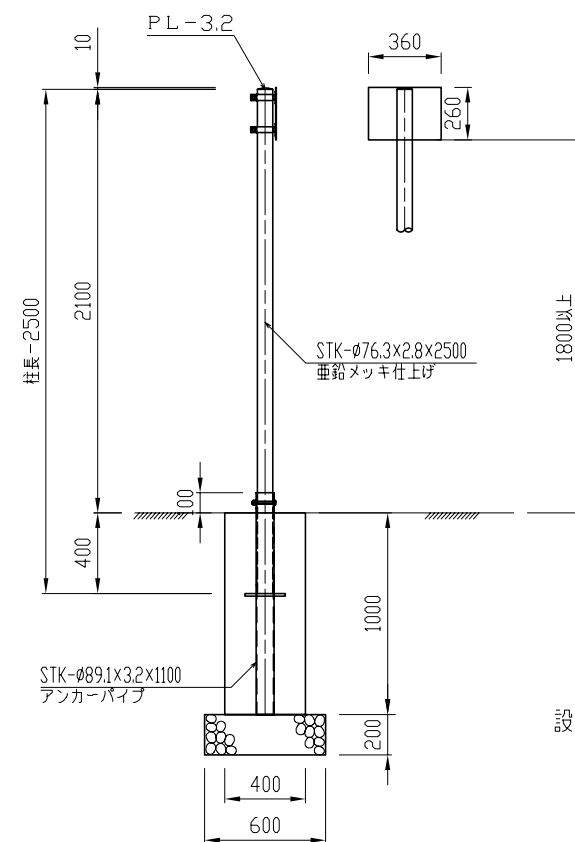
一般国道	図面記号	情 - 見出しポール	H18
	名 称	埋設標識見出しポール（その1）	

単位：mm

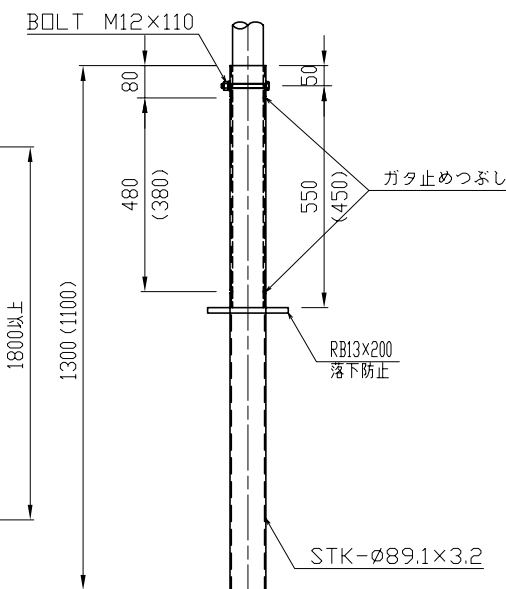
盛土部設置図



平坦部設置図



アンカーパイプ詳細図



※（ ）内数値は平坦部を示す。

設計条件（設計条件が異なる場合は別途検討の事）
 ＊設計風速 40m/sec（路側柱）とする。
 ＊土の単位体積重量 17～19kN/m³
 ＊土の内部摩擦角 25～35°
 ＊標準貫入試験値 10～30

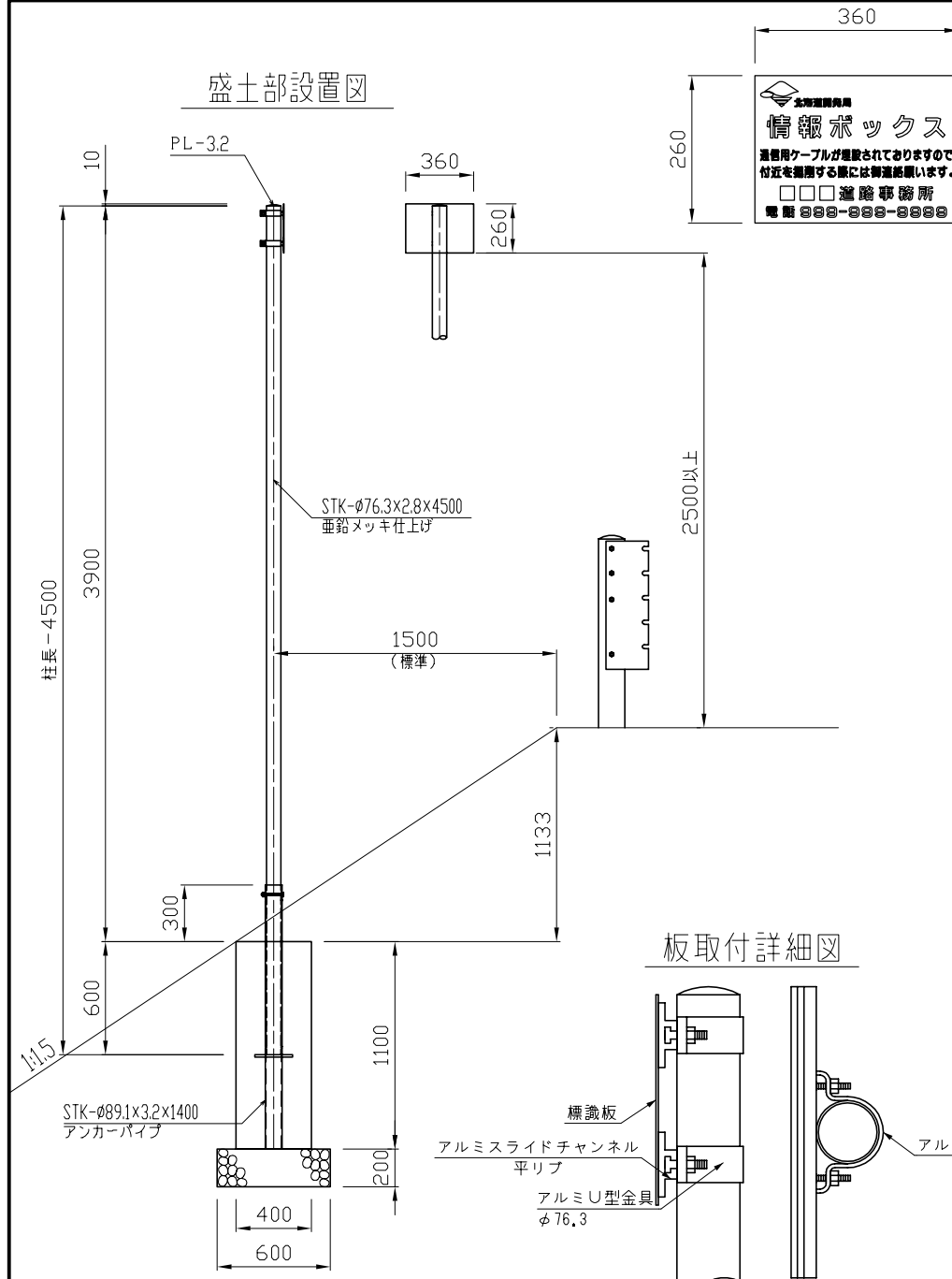
注 意

- (1) すみ肉溶接の脚長は、薄い方の母材の厚さとする。
- (2) 規格は鋼管をSTK400、鋼板、形鋼、ボルトはSS400とする。
- (3) 標識板の大きさ、枚数、位置等が変更になる場合、標識柱及び基礎工等について別途検討の事。
- (4) 標識柱・アンカーパイプは溶融亜鉛メッキ仕上とする。（JIS H8641 HDZ55）
- (5) 使用するボルト・ナット類は溶融亜鉛メッキ仕上2種HDZ35以上とする。
- (6) 表示板の設置向きは、車道に平行に設けることを標準とする。
- (7) 標識板の基板はアルミ板 t=2.0mmを使用の事。
- (8) 標識板補強材はアルミスライドチャンネル（平リブ）を2段使用。
- (9) 基板と補強材の接続方法は、スポット溶接とする。

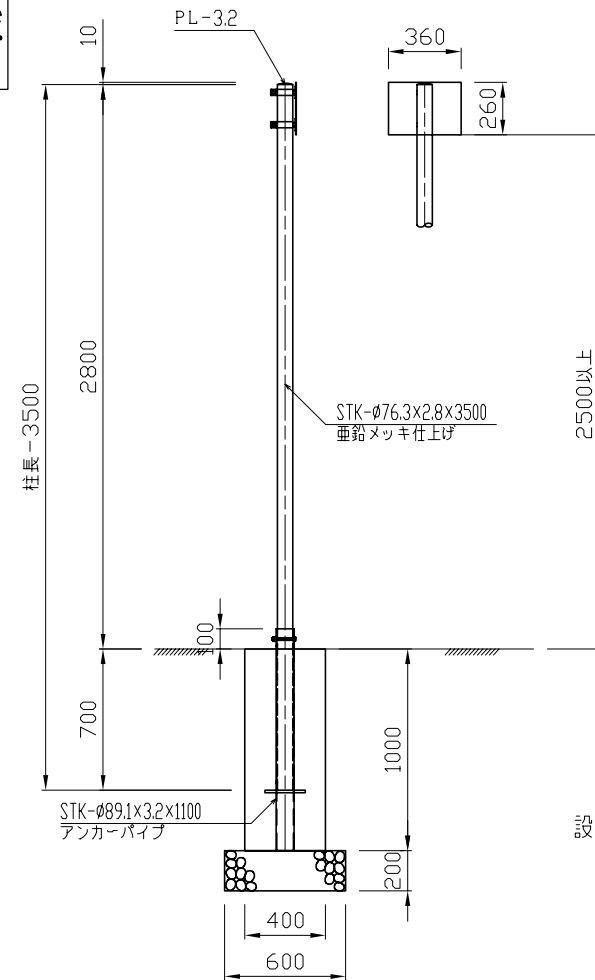
一般国道	図面記号	情 - 見出しポール
	名称	埋設標識見出しポール（その2）

単位：mm

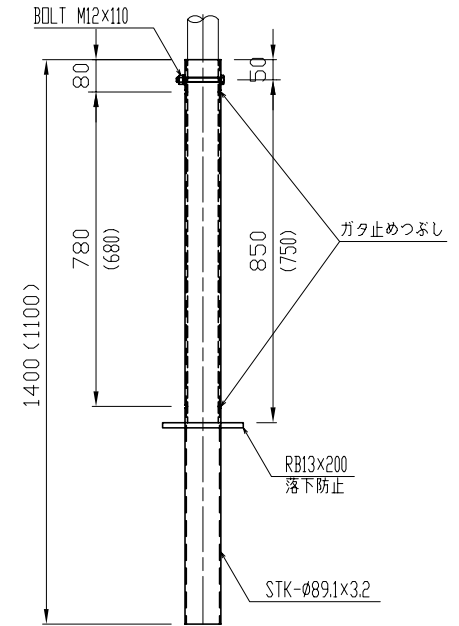
盛土部設置図



平坦部設置図



アンカーパイプ詳細図



※ () 内数値は平坦部を示す。

設計条件 (設計条件が異なる場合は別途検討の事)

* 設計風速 - 40 m/sec (路側柱) とする。

* 土の単位体積重量 17 ~ 19 kN/m³

* 土の内部摩擦角 25 ~ 35°

* 標準貫入試験値 10 ~ 30

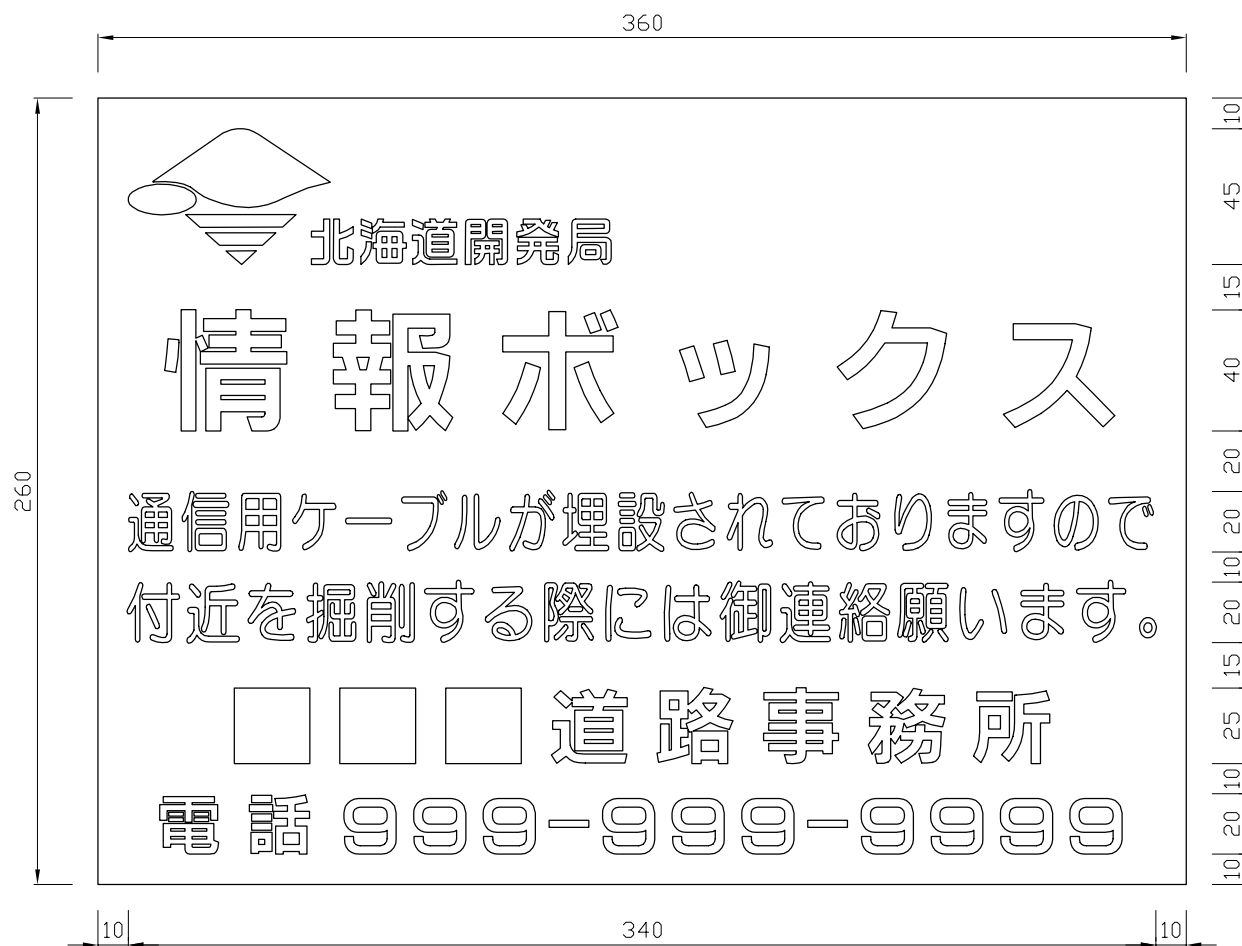
注 意

- (1) すみ肉溶接の脚長は、薄い方の母材の厚さとする。
- (2) 規格は鋼管をSTK400、鋼板、形鋼、ボルトはSS400とする。
- (3) 標識板の大きさ、枚数、位置等が変更になる場合、標識柱及び基礎工等について別途検討の事。
- (4) 標識柱・アンカーパイプは溶融垂鉛メッキ仕上げとする。(JIS H8641 HDZ55)
- (5) 使用するボルト・ナット類は溶融垂鉛メッキ仕上げ2種HDZ35以上とする。
- (6) 表示板の設置向きは、車道に平行に設けることを標準とする。
- (7) 標識板の基板はアルミ板 t=2.0mmを使用の事。
- (8) 標識板補強材はアルミスライドチャンネル (平リブ) を2段使用。
- (9) 基板と補強材の接続方法は、スポット溶接とする。

一般国道	図面記号 名 称	情 - 埋設標識 見出しポール埋設標識	H18
------	-------------	------------------------	-----

見出しポール埋設標識

単位：mm



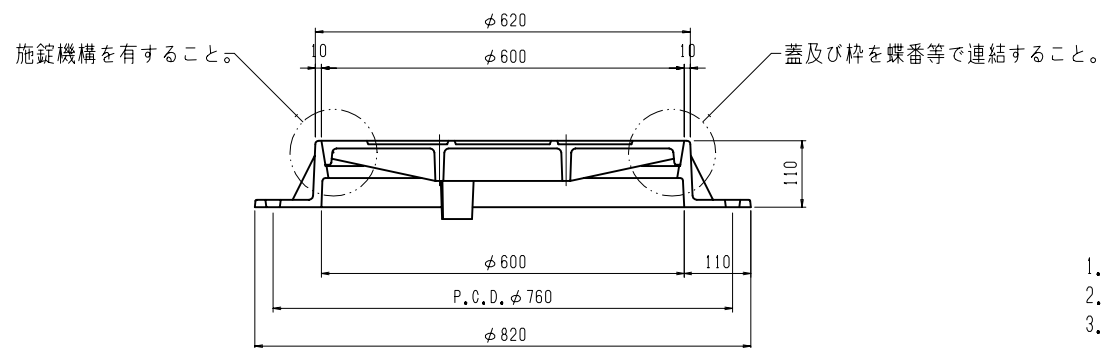
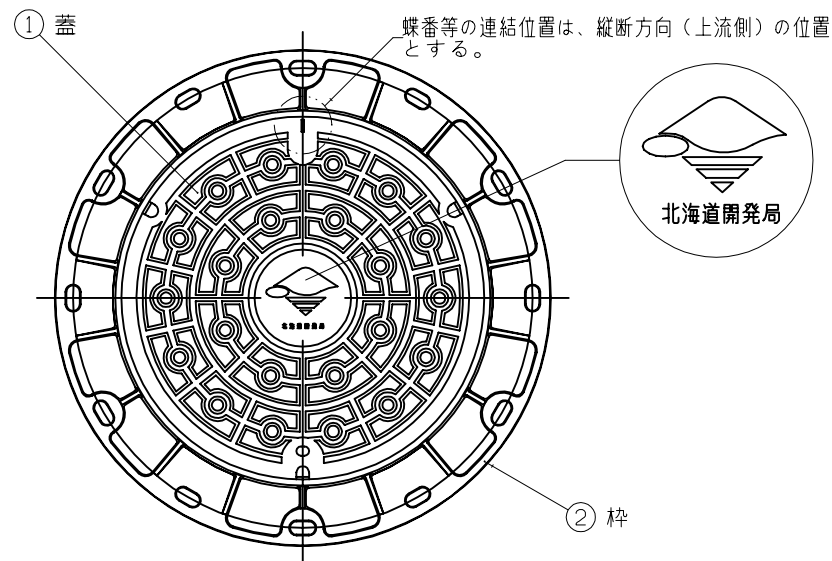
色 彩 開発局マーク 指定色
表示ベース部 淡い赤
文 字 黒

反射シート カプセルレンズ型

一般国道	図面記号	情 - HH-蓋	H13
	名 称	ハンドホール蓋参考図	

単位：mm

ふた金物平面図



断面図

ハンドホール蓋 参考図

「枋-HM-蓋（その1）-H13（道路工事標準設計図集）」に、下記の性能が備わった製品とする。

1. 水が進入しないこと。（水抜き穴が塞がっていること）
2. セキュリティのための施錠装置が備わっていること。
3. 車道部設置は、T-25対応蓋としその他の箇所については、T-14対応蓋の使用とする。
4. 製造工場は、（社）日本下水道協会（JSWASG-4）の認定を有すること。
5. 受枠は梯子が取付けられる構造とすること。